

倉掛新聞

《発行所》
 倉掛自治連合会
 井原市井原町倉掛
 会長／大坪正広
 《編集》
 倉掛自治連合会
 倉掛婦人会
 倉掛少年団育成会
 消防井原分団第5

新市庁舎完成

〈市民ら多数が見学〉

市制施行50周年事業の柱の一つだった井原市役所新庁舎が完成。7月17日に落成式が行われ、引っ越し前の18～19日には、待ちこがれた多くの市民が見学を訪れた。



以前の庁舎は昭和三十年建造以来、市民に親しまれてきたが、老朽化が進み

新しい市庁舎は玄関を人

ホイサ・ホイサ

旧盆の訪れを告げる井原公民館主催の井原町盆踊り大会が8月10日、井原小学校グラウンドで開かれ、町民約3000人(公民館発表)が夏の一夜を楽しんだ。

金魚すくいなどの模擬店は大盛況。倉掛と夏目が担当したかき氷のコーナーにも長い列ができ、育成会の増成実さんらは2台の機械をフル回転させ対応していた。

会場の一角には、10

井原町盆踊り大会

月26日の井原町鬼祭りをPRしようと井原公民館関係者が手を加えた「鬼の絵ぶた」も置かれ、華やかに彩りを添えた。



目をひいた大きな「鬼の絵ぶた」

ると四階まで吹き抜けになっている。解放感溢れるサロンは市民が気軽に利用でき、多目的に使えるなど共用性が高い。
 見学に訪れた倉掛十三三組の川上重治さんは「立派な庁舎が出来たことは大変喜ばしい。合併を考えるとき、タイミング的にもピッタリだ」、また当地区の

【概要】
 総工費：29億8000万円
 着工：平成14年2月
 完成：平成15年7月
 延床面積：10210㎡
 主構造：鉄筋コンクリート5階建て
 一塔屋1階建て
 施工：清水建設・志多木組JV

1市2町へ加速

井原町で住民説明会

合併に関する調査報告を兼ねた住民説明会が七月三十日に井原公民館で開かれ、井原地区の住民ら約百

人が出席した。冒頭、谷本巖市長が今年四月に井原市・芳井町・美星町で合併研究会を立ち上げ、検討した経緯を説明。その上で「1市2町は合併に前向き。法定協議会を設置して次なる段階に進みたい」と指針を示した。

続いて松山総務部長が、「合併で市の財政力指数はやや下がるものの、行政効率のアップや人件費削減につながる。公共料金などの違いについては公平な調整

主婦三人連れは「素晴らしい。二十一世紀の井原市に相応しい庁舎ですね。市民生活にしっかり生かされることを願っています」と話していた。

いきいきサロ 9月発会が決定

初回の講師は小田院長



川相肇民生児童委員

合で、初回のサロンが九月二十一日に郷社拝殿で開かれることに決まった。川相肇民生児童委員は、「先に実施した回覧ルートによる申込み者は十五人。婦人会・愛の会・自治連合会役員などを含めると、参加が必要」と詳細に説明し、地方分権には自己責任が伴うことをあらためて強調した。

出席者からは、新しい市の名前の質問や将来を見通した町づくりの期待を込める意見などもあった。

目標は鬼百人

井原町秋まつり

市制施行五十周年記念事業の井原町秋祭りへ向け、井原町全域で鬼百人の募集が始まっている。井原公民館鬼祭り運営委員会(鳥越俊男委員長)は、各地区に対し十人程度の鬼

を要請。倉掛地区では十五人を目標に協力を呼び掛けている。午前中は少年団もこしに同行し、午後から町全体の行列に加わることになる。都合が悪い場合は、午前・午後の選択も可能。問い合わせは自治連合会の各役員まで。

加者は三十人を超えるだろう」との見通しを明らかにした。当日は小田皓二院長(小田病院)の健康に関する講話に続き、サロンの名称や組織づくり、活動内容等を出席者全員で協議する。

運動会へ向け準備

自治会臨時総会

倉掛自治会臨時総会が八月二十三日夜、さくらの家で行われた。

今回は「井原町大運動会の選手選出に関する件」が主な議題。倉橋一郎福祉体育部長が「各組にお願する参加種目及び人数は一人程度」と説明し、提出期限を八月二十九日と定めた。綱引きや年代別リレーなどの選手については、自治連合会等が個別に選考。体力的負担の少ない種目を各組に依頼した。

創作活動に意欲

肝試し復活

「キャー怖いよー」

少年団キャンプ



倉掛少年団（丸山泰弘団長十五人）と同育成会（佐能敏政会長）が、矢掛町で七月十九日から二日間、サマーキャンプを行った。

今年梅雨末期の悪天候で中止も心配されたが、時刻を遅らせ午後からの出発となった。目的地は車で東へ約四十分、矢掛町市街地から少し北へ入った森の中の亀島キャンプ場。「ここ

- 1日目 7/19 (土)
- 13:20 郷社出発
- 14:00 亀島キャンプ場到着
- 15:40 テント設営
- 16:00 野外炊事
- 17:00 夕食(バーベキュー)
- 18:00 後片付け
- 19:00 キャンプファイヤー
- 22:00 肝試し(レクリエーション)
- 23:00 就寝

- 2日目 7/20 (日)
- 6:00 起床 ラジオ体操
- 7:00 野外炊事
- 8:00 朝食
- 9:00 テント片付け
- 10:00 巨大創作物作り
- 11:00 昼食準備(育成会)
- 12:00 昼食(そうめん流し)
- 13:00 後片付け
- 15:00 キャンプ場出発

美味しいねー



好評だったそうめん流し。竹を削ったりする段取りは育成会の西山津好さんが担当した

は近くで穴場なんですよ」と佐能会長。避難小屋や炊事場も充実している。最初の仕事は生活拠点となるテントの設営。育成会

の川上吉弘さんから手順を教わり、団員だけでしっかりと張った。

夕食は男女連携

午後四時からバーベキューの準備に取り掛かる。男子八人は薪の準備と火おこし。女子七人は、包丁を片手に調理を担当した。ほどよく焼けた肉の香りが漂いはじめると一斉に「頂きます」。大勢で食べるの

悪天候に中止も覚悟

天気予報では、雨・雨・雨で、最悪の場合はキャンプを中止し、バーベキュー大会に切り替えて郷社か井原大橋の下で行うことも考えていました。しかし、公園で遊ぶ少年団員の横田博子さんと森生子さんから、「おっちゃん、少々の雨や

倉掛少年団育成会
会長 佐能 敏政

「たらキャンプしようやあー。うちら楽しみにしてるけん」と言葉を掛けられ、何とか連れて行ってやりたかと思いましたが、計画では十時頃の出発予定にしていたが、前日からの雨で三時間出発を遅らせました。団員の願

頑張った団員たち たくましさを発揮

が通じたのか、よい天気になりました。今年のキャンプでは「できるだけ子供たちだけでできる。させる」を基本に、「途中でテントが倒れ、星を見ながら寝るもよし」、「少々こげても、食べれるならそれもよし」ということで、テント張りや飯ごう炊飯などは子供たちが主役となって頑張りました。



力を合わせて「迷路」づくりに励む男子

夜のファイアーストームは工夫を凝らした班ごとの出し物や、アマチュア音楽家倉橋一郎さんのライブで盛り上がり、楽しい一時を心に刻む。

二日目のメインは段ボールを使った巨大創作物作り。男子は迷路、女子はチボリの町並みをイメージしたミニ建築に挑戦。一泊二日のキャンプ生活を充実させた。

キャンプの感想

■「キャンプでは、テントをたてたり、ファイヤーをしたり、そうめん流しをしました。なかでもファイヤーの出し物が楽しかったです。夏休みの良い思い出になりました」=谷知美(5年)

■「肝試しが怖くて楽しかった。それとそうめん流しが初めての体験で楽しかった。おなか一杯食べました」=増成大貴(5年)

■「キャンプはとても楽しかった。なかでも巨大創作物をみんなで作ってできた巨大迷路の中で色々な事をして遊んだのがおもしろかった」=山岡弘樹(5年)

■「段ボールの中はとても暑かったけど、巨大迷路が楽しかった」=濱田和紀(5年)



は美味しいね」と、ワイワイイガヤガヤ、皆の笑顔が弾けた。

待っていたのは雰囲気を変させる肝試し。ゲゲゲの鬼太郎の音楽が流れる中、育成会員が扮する妖怪に驚き「ウワー」「キャー」を連発。笑い恐怖の余韻に浸りながら、眠れぬ一夜を過ごした。

二日目のメインは段ボールを使った巨大創作物作り。男子は迷路、女子はチボリの町並みをイメージしたミニ建築に挑戦。一泊二日のキャンプ生活を充実させた。